

「起・承・転・結」(ティピカルストーリー)

「起」	1	ある(ところ)ある(日)、～
「承」	2	毎日(毎日)、～
「転」	3	ところがある日、～
「転」	4	そして(それで、そのおかげで、その時)、～
「転」	5	ところが、～
「結」	6	そして(それで、そこで、そのおかげで、というわけで)、～
「結」	7	その日以来、～

実践例

- 1 6年生の国語の教科書「漢字の広場(5年生で習った漢字)P91」(光村図書)のめあて「5年生に学習した漢字を使って、魔法使いの少女の冒険物語を、作家になったつもりで書きましよう」を確かめる。
- 2 物語の典型的な組み立て「起・承・転・結」(ティピカルストーリー)に、13枚の挿絵を当てはめて、構成を理解する。
- 3 ティピカルストーリーに沿ったモデル物語例(「桃太郎」「三年峠」「ごんぎつね」)を読み、これからの活動のおおよそを理解する。
モデル作品の書き出しの解説と、「1つの書き出しで1文に収める」約束や、「転」がいくつも出てくると物語が面白くなっていくことなどの補足説明を聞く。

「起」	1	ある(ところ)ある(日)、～
「承」	2	毎日(毎日)、～
「転」	3	ところがある日、～
「転」	4	そして(それで、そのおかげで、その時)、～
「転」	5	ところが、～
「結」	6	そして(それで、そこで、そのおかげで、というわけで)、～
「結」	7	その日以来、～

- 4 4人組グループを作り、発話の順番を決める。
1～7の書き出しを使って話をつなぎながら、口頭で、即興のストーリーを作る。
止め」の合図まで、何度も内容(時・所、人物、出来事)を変化させて繰り返し活動する。
- 5 「止め」の合図の後、グループの活動をその場で全員に聞いてもらう。聞き手は拍手と簡単な(肯定的)評価をする。
- 7 指導された学級の作文例(原稿用紙4枚)、作文例の紹介を聞く。
- 6 発展的なやり方の紹介を聞く。
 - ① 全員の前での発表を、教室の前で行う(緊張感が違う)。
 - ② グループで傑作と思う物語を一つ選んで書く。
 - ③ それをグループで役割を決め、即興劇にする。
 - ④ 「一人で作る」